

チシマアザミの雌雄性

埼玉県和光市 門田 裕一



図1 チシマアザミ。夕張岳の高山帯にて

日本産アザミ属に雌性株があることは川窪伸光が明らかにした(Kawakubo 1995)。つまり、アザミ属には両性同株と雌性両性異株(川窪は雌性雌雄異株と表現)があるという訳である。2019年に道東の白糖町でチシマアザミの雌雄性について調査を行った結果、興味深い現象が見られたのでここで紹介したい。さらに複雑な性分化の様子が観察されたのである。

チシマアザミ

チシマアザミは道内ではどこでも普通に見られるアザミと考えられてきたが、意外にも分布域はあまり広くない。このアザミはどちらかというと高山性で、中央高地、夕張山地、日高山脈、増毛山地、知床山地などの高山帯に見られる(図1)。ただ、分布域は高山に限られるという訳ではなく、利尻・礼文の両島の海岸を始めとして、各地の低標高地にもしばしば見られる。花期は、高所では7-8月、低



図2 チシマアザミの頭花。夕張岳にて



図3 チシマアザミの群落。白糖海岸にて